

事業シート(平成31年度決算)

事業名	20500 表彰事務費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性		市長公約
			款	2	総務費		まちづくり戦略		
			項	1	総務管理費				
			目	5	広報費		根拠計画		
担当課	総務部 広報情報課	内線	2442						

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・市政の進展に寄与された方々の功績を称え、表彰された方々の意識の高揚や地域の活性化を図る。	概要	・表彰式の開催
----	---	----	---------

総合計画等 主な指標	H30実績	H31実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H30		H31				
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)	
	3,600	3,155	3,300	3,631	3,580	425	
特定財源							
国費( )							
県費( )							
その他( )							
一般財源	3,600	3,155	3,300	3,631	3,580	425	
個票枝番	主な事業内容						
	表彰事務費	3,600	3,155	3,300	3,631	3,580	425

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和2年度予算編成(Action)

(千円)

R2予算		実施計画額		-
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
3,296	3,250	4,050	750	
3,296	3,250	4,050	750	
査定額	説明			
4,050				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	・市表彰式(11月1日)を実施し、89人・2団体を表彰した。
評価等	・市政の発展等に尽力された方々の功績を称え表彰することができた。 ・市民と行政のパートナーシップの構築や各種団体のモチベーションの維持向上等に繋がっている。
次年度以降の考え方(担当課)	・引き続き、該当者の把握と適切な運用を行う。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	・市表彰式(11月1日)を実施し、85人・1団体を表彰した。
評価等	・市政の発展等に尽力された方々の功績を称え表彰することができた。 ・市民と行政のパートナーシップの構築や各種団体のモチベーションの維持向上等に繋がっている
次年度以降の考え方(担当課)	・引き続き、該当者の把握と適切な運用を行う。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・市表彰式の開催などに必要な経費を計上
---------------------	---------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・鳥獣被害対策実施隊員の表彰に必要な経費を計上
--------------	-------------------------

事業シート(平成31年度決算)

事業名	20510 広報広聴事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	着実な計画の推進	市長公約	市民の皆さんからの声をお聞きする機会を数多くつくり、皆さんの意見や提案を市政に反映します。
			款	2	総務費		まちづくり戦略			
			項	1	総務管理費					
			目	5	広報費		根拠計画			
			担当課	総務部 広報情報課	内線		2468			

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民生活に役立つ情報や必要な情報を容易に得ることができるようにする。</li> <li>市政運営への理解を深め、行政との信頼関係を構築する。</li> <li>市政に対する意見を容易に述べられるようにする。</li> </ul>	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>広報紙や地域FM放送、CATV放送により各種行政情報を提供する。</li> <li>「市民と市長の対話集会」を開催し、直接市民の声を聴く。</li> </ul>
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	H30実績	H31実績	R6目標
市ホームページ(行政情報)へのアクセス件数(年間)	475万件	452万件	-
パブリックコメントに寄せられた意見数(年間)	21件	48件	100件

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H30			H31			
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)	
	94,974	94,445	95,574	95,243	94,693	248	
特定財源							
国費( )							
県費( )							
その他( 広告事業雑入 )	280	100	280	280	0	△ 100	
一般財源	94,694	94,345	95,294	94,963	94,693	348	
個票枝番	主な事業内容						
	広報たかやま発行	41,200	40,956	41,500	41,426	41,238	282
	CATV、ラジオ番組制作等	53,550	53,421	53,850	53,647	53,364	△ 57
	広報紙面の外部評価						

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和2年度予算編成(Action)

(千円)

R2予算		実施計画額		98,484
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
98,377	98,484	98,484	2,910	
156	280	280	0	
98,221	98,204	98,204	2,910	
査定額	説明			
44,400				
53,680				
180				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>広報紙を毎月1日・15日に発行し、新聞折込や戸別配布により全世帯に配布</li> <li>地域FM放送にて地域情報・行政情報・緊急情報等を制作・放送</li> <li>サイマルラジオ放送による市政情報の配信</li> <li>CATV放送にて「ハイ、市役所です」「週刊高山ニュース」などを制作・放送</li> <li>無料広報アプリ「マチイロ」を導入し、電子媒体で情報を配信</li> <li>行政ホームページ内に「市政ダイアリー」を立ち上げ、市の取り組みを発信</li> <li>市内各地域で市民と市長の対話集会を開催(12回、355人参加)</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な媒体を活用し、市の施策や市民生活に役立つ情報等を積極的に発信した。</li> <li>市民と市長の対話集会を開催し、まちづくりにおける地域課題等を情報共有できた。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、時代や市民のニーズにあった広報・広聴の手法について検討していく。</li> </ul>
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>広報紙を毎月1日・15日に発行し、新聞折込や戸別配布により全世帯に配布</li> <li>地域FM放送にて地域情報・行政情報・緊急情報等を制作・放送</li> <li>サイマルラジオ放送による市政情報の配信</li> <li>CATV放送にて「ハイ、市役所です」「週刊高山ニュース」などを制作・放送</li> <li>無料広報アプリ「マチイロ」を活用し、電子媒体で情報を配信</li> <li>高山市公式LINEを開設し、防災情報やイベント情報等を効果的に発信した。</li> <li>高山市公式インスタグラムを開設し、市内のさまざまな出来事や景色など市の魅力を発信した。</li> <li>市の取り組みを、ホームページの「市政ダイアリー」で日々配信した。</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な媒体を活用し、市の施策や市民生活に役立つ情報等を積極的に発信した。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民に市政情報等をより分かりやすく伝えるため、広報紙面のリニューアル(紙面外部評価の実施、全面カラー化等)に取り組む。</li> <li>引き続き、時代や市民のニーズにあった広報・広聴の手法について検討する。</li> </ul>
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民が知りたい情報を迅速に得ることができるよう、広報紙やFMラジオ、CATVなどの媒体から情報発信するために必要な経費を計上</li> <li>分かりやすくより親しまれる広報紙となるよう、紙面の充実、カラー化などに必要な経費を計上</li> </ul>
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------

事業シート(平成31年度決算)

事業名	21400 行政事務電算化推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	着実な計画の推進	市長公約	・AI(人工知能)やIoT(様々なモノがインターネットと繋がり便利になる)、ICT(情報通信技術)などの導入による市民サービスの向上に努めます。
			款	2	総務費		まちづくり戦略			
			項	1	総務管理費	根拠計画				
			目	14	情報化推進費					
担当課	総務部 広報情報課	内線	2457							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全市民が情報通信技術を活用した利便性を享受できるようにする。</li> <li>・職員が効率的に市の業務を行えるようにする。</li> <li>・専門事業者への電算処理業務の委託により、正確な内容で各種通知書が市民等へ届くようにする。</li> </ul>	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電算システム及びネットワークの整備、維持管理、効果的な運用を実施する。</li> <li>・市税賦課や納税通知書の帳票印刷などの行政事務の電算処理を外部へ委託する。</li> </ul>
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	H30実績	H31実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H30			H31			増減(b)-(a)
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)		
	379,495	362,724	410,475	414,375	401,174	38,450	
特定財源	国費 ( 社会保障・税番号制度関連システム整備事業費 10/10等 )	9,800	10,570	1,740	1,740	4,076	△ 6,494
	県費 ( 県子ども・子育て支援事業費 10/10 )		3			3,366	3,363
	その他( 広告事業雑入、事務所等使用雑入 等 )	4,970	5,918	5,080	5,080	6,181	263
一般財源		364,725	346,233	403,655	407,555	387,551	41,318
個票枝番	主な事業内容						
	情報システム運用・改修、電算化推進、情報セキュリティ対策	201,060	194,341	226,290	226,290	221,056	26,715
	機器保守、機器借上	103,000	98,699	105,150	105,150	101,847	3,148
	電算処理委託	56,000	51,459	56,000	56,000	52,000	541
	情報システム負担金	19,435	18,225	23,035	23,035	22,360	4,135
	印鑑登録証システム改修(9月補正)				3,900	3,911	3,911

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和2年度予算編成(Action)

(千円)

R2予算		実施計画額		390,896
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
398,259	390,896	390,896	△ 19,579	
5,144	5,067	5,067	3,327	
4,173	4,130	4,130	△ 950	
388,942	381,699	381,699	△ 21,956	
査定額	説明			
202,620				
109,650				
54,000				
24,626				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電算システムのソフト保守及び機器保守、機器賃貸借、電算システムの維持管理</li> <li>・社会保障・税番号制度の情報連携</li> <li>・市税、軽自動車税、保育料、廃棄物処理料等の納税通知書、固定資産課税台帳等の異動処理、選挙人名簿帳票、課税台帳、各種受給者証等の印刷、封入封緘作業などの業務委託</li> <li>・市ホームページやメール配信による各種行政情報の提供</li> <li>・情報セキュリティ強化対策システムの運用</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・システム更新の際は、個別のシステムを仮想サーバに集約できないか検討し、コスト削減を図る必要がある。</li> <li>・電算システム機器の維持管理の外部委託について、業務の効率化や費用対効果を踏まえながら検討する。</li> <li>・行政事務の電算処理については、更なるコスト削減のため、委託事務処理内容の再検討や、処理件数の削減、事業の集約化に取り組む必要がある。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善</li> <li><input type="checkbox"/> 拡大</li> <li><input type="checkbox"/> 縮小</li> <li><input type="checkbox"/> 廃止検討</li> <li><input type="checkbox"/> H30完了</li> <li><input type="checkbox"/> H31完了予定</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き情報セキュリティ強化に努めるとともに、計画的な整備により、適切な運用管理を実施する。</li> </ul>

5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電算システムのソフト保守及び機器保守、機器賃貸借、電算システムの維持管理</li> <li>・社会保障・税番号制度の情報連携</li> <li>・市税、軽自動車税、保育料、廃棄物処理料等の納税通知書、固定資産課税台帳等の異動処理、選挙人名簿帳票、課税台帳、各種受給者証等の印刷、封入封緘作業などの業務委託</li> <li>・市ホームページやメール配信による各種行政情報の提供</li> <li>・情報セキュリティ強化対策システムの運用</li> <li>・Windows7のサポート終了に伴うOSアップグレード(Windows10への更新)</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・システム更新の際は、個別のシステムを仮想サーバに集約できないか検討し、コスト削減を図る必要がある。</li> <li>・電算システム機器の維持管理の外部委託について、業務の効率化や費用対効果を踏まえながら検討する。</li> <li>・行政事務の電算処理については、更なるコスト削減のため、委託事務処理内容の再検討や、処理件数の削減、事業の集約化に取り組む必要がある。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善</li> <li><input type="checkbox"/> 拡大</li> <li><input type="checkbox"/> 縮小</li> <li><input type="checkbox"/> 廃止検討</li> <li><input type="checkbox"/> H31完了</li> <li><input type="checkbox"/> R2完了予定</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き情報セキュリティ強化に努めるとともに、計画的な整備により、適切な運用管理を実施する。</li> <li>・AI(人工知能)やRPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)など先端技術の活用や、地理情報システム(GIS)の多目的利用に向け取り組む。</li> </ul>

担当課 予算要求 ポイント	・情報通信技術のさらなる活用による市民サービスの向上と業務効率化に必要な経費を計上
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------